

職業実践専門課程 学校関係者評価委員会

議事録

日 時 令和元年5月28日(火) 14時～16時

場 所 平成福祉専門学校 講師控室

出席者(学校関係者評価委員)

委員条件	氏名	所属先	役職
専門分野における 業界関係者	藤村 桂子	社会福祉法人 山寿会 特別養護老人ホーム 湯の里	副施設長
卒業生(同窓会関係)	友草 妙子	介護老人福祉施設 ウエルプラザ高知	介護主任
保護者又は地域住民	津野 福江	地域住民	
高等学校等の校長及び 進路指導担当者等	大石 美智子	元県立高等学校教諭(進路担当)	
地域の地方公共団体等 の関係者	半田 雅典	高知県社会福祉協議会 福祉人材部	部長
学校職員	吉岡 成	平成福祉専門学校	校長
学校職員	福井 華世	平成福祉専門学校	副校長
学校職員	片岡 史陽	平成福祉専門学校	教務主任

会議内容【会次第】

1、学校長挨拶

職業実践専門課程申請に向けて（学校の姿勢と経緯）

学校関係者評価委員会設置の趣旨説明

2、学校関係者評価委員紹介

3、本校の概要

別紙、**資料**、学生ハンドブック、パンフレット参照

(1) 教育目的・教育目標

資料 P 1 参照

(2) 学校運営（校務分掌、事業計画）

資料 P 1～2 参照

(3) 教育活動

学生ハンドブック P 9～11、2020 学校案内(パンフレット) P 13～14 参照

・資格取得・・・**資料** P 3 参照、学生ハンドブック P 22 参照

・施設体験型授業の実施

音楽、コミュニケーション技術、介護過程、介護総合演習の授業の一部を、施設に出向し、利用者との交流や職員の講話等から学ぶ

・授業評価アンケート実施報告

年度末に、学生より授業評価を受け、その結果を次年度の授業展開に反映

(4) 学修成果

資料 P 4、学生ハンドブック P 3～8 「学則」 参照

・卒業の認定

・介護福祉士国家試験受験結果報告

・卒業教育

潜在的有資格者支援事業（H29 年度、県委託事業）時に活動。現在は休止
組織体制を編成し始動が課題

・在籍状況

(5) 学生支援・指導

- ・健康管理・健康相談

資料 P 4 参照

学生ハンドブック P 2 5 「健康診断及び健康相談」、P 4 0～4 1 「保健室の利用について」参照

- ・就職ガイダンス

必要に応じて、履歴書作成指導、面接練習、卒業生からの講話

- ・修学支援（奨学金制度など）

資料 P 4 参照

2 0 2 0 学校案内（パンフレット）P 1 3～1 4 参照

- ・スクールバス運行・学生寮完備

2 0 2 0 学校案内（パンフレット）

学生寮 P 1 5～1 6、スクールバス P 1 9 参照

(6) 教育環境（施設整備・防災体制）

- ・施設整備

資料 P 5 参照

2 0 2 0 学校案内（パンフレット）参照

- ・防災体制

資料 P 5 参照

学生ハンドブック P 3 2 「災害補償制度」参照

(7) 学生の受け入れ募集

資料 P 5 参照

(8) 財務

法人ホームページで閲覧可

(9) 法令等の遵守

資料 P 5 参照

(10) 社会・地域貢献活動

資料 P 5 参照

(11) その他

・特別活動

学生自治会・・・資料 P 5、学生ハンドブック P 3 3～3 4 「学生自治会
規約」参照

教育振興会・・・資料 P 5 参照

・国際交流

4、学校評価実施報告

5、質疑応答ならびに意見交換

地域の地方公共団体等の関係者より

(問) 学生募集は、他校（県内外含め）と比較して成功していると思うが、その要因は何と考えるか。

本機関で高齢者疑似体験セットの借用申請をしているが、小中高等学校での出前授業をしているか。その成果は募集に繋がっているか。

(答) 業者・専各連主催の進学説明会に参加した高校生に体験入学を案内。高校でも進学指導を強化している傾向から、オープンキャンパスへの参加を斡旋している。体験入学では、学生スタッフ、参加者間の関係を深めるグループづくりや利用者との交流により動悸づけを行う。そこから進学を決めるケースが多い。

小中高等学校での出前授業と進学の関係性は不明だが、高校生初任者研修は、受講をきっかけにステップアップめざし進学する生徒もいる。

(問) 退学者数は、他校と比べてどうか。

(答) 他校の状況を把握していない。本校に限ると、5年ほど前は、退学者が多かった（1学年で10名前後）。ここ数年は、学生個々の悩みや不安等に対して相談・支援をその都度行っており現象していると思われる。中でも、科目試験の不合格から再試験が発生する学生が多い。複数回再試験を実施することで、学習する機会をつくることで学習の習得になると考え実施している。単位修得のチャンスが増えたことも退学者減少につながっていると考え。

卒業生（同窓会関係）より

卒業生として、校友会活動には協力したい。

高校卒業後、福祉施設へ就職する生徒さんもいる。現場は人材不足であるが、専門的知識・技術の必要性を発信したい。

専門分野における業界関係者より

他産業でも、勤務中にSNSで不適切かつ不快動画が流出し社会問題となっている。
個人情報保護の観点から、SNSの適切な活用方法を授業で行う必要があると思う。

高等学校等の校長及び進路指導担当者等より

保護者からの学校評価の中で、保護者への学校の情報の伝達に課題があるのではない
か。保護者面談よりも、保護者向けの説明会を保護者が参加しやすい曜日・時間で設
定し開いてはどうか。

高校で行ったことで、保護者理解が得られ学校運営が円滑になった例がある。

地域住民より

「愛・誠実・実践」の校訓を念頭に、適正な学校運営がされていると思う。